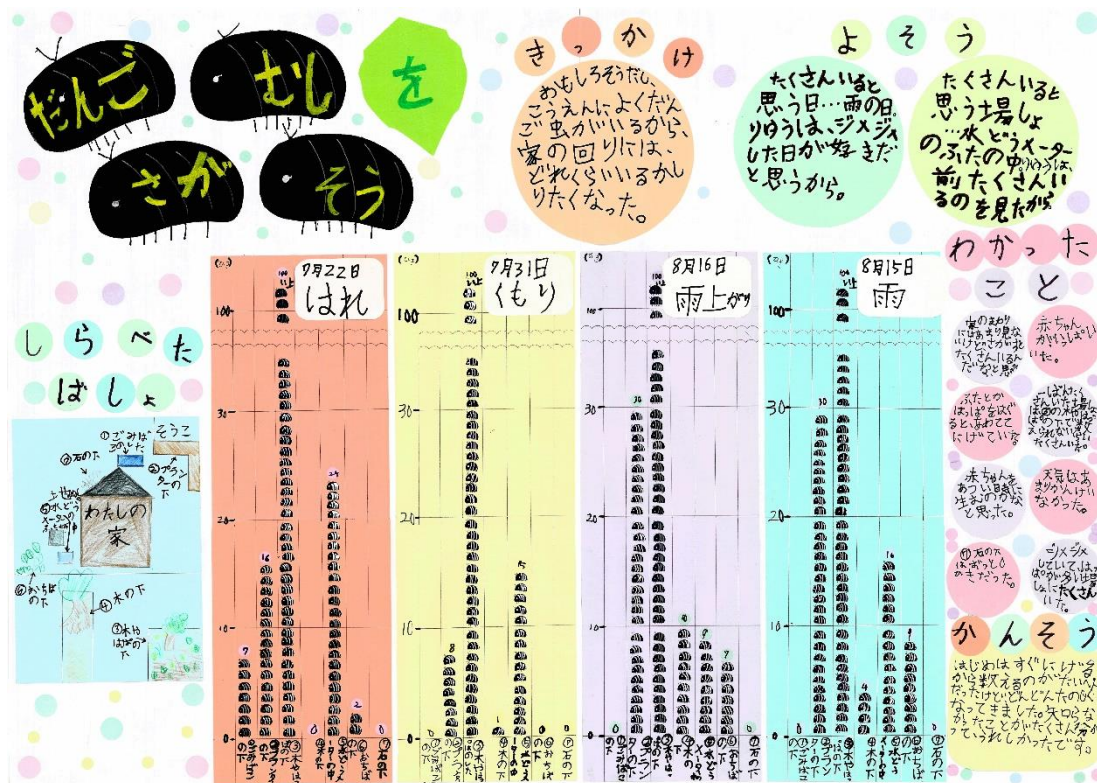


令和5年度島根県統計グラフコンクール 特選作品講評

○第1部 特選



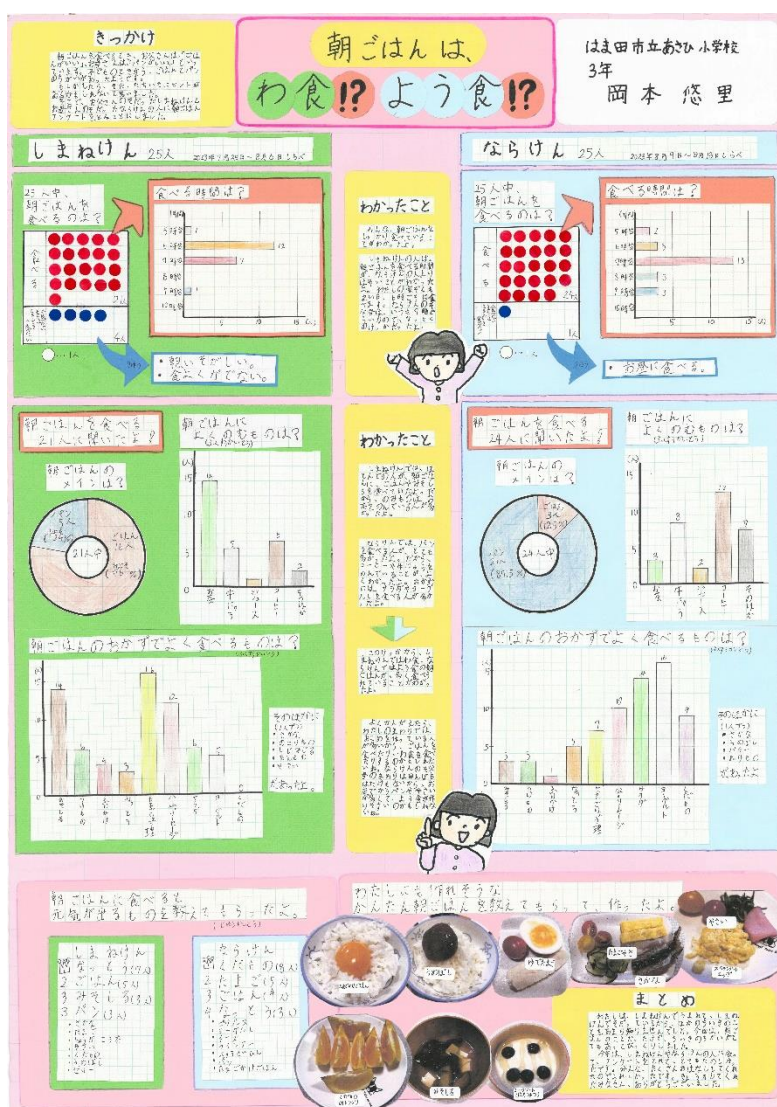
「だんごむしをさがそう」

松江市立城北小学校 2年 神田 華

公園でたくさん見かけるダンゴムシが、家の周りにどれくらいいるのかという素朴な疑問から、興味を持って予想・調査をしたユニークなテーマとなっています。

天気と場所の両面から調査することでデータに深みを持たせ、ダンゴムシを模したシールを作ってグラフにしており、丁寧で緻密な素晴らしい作品です。

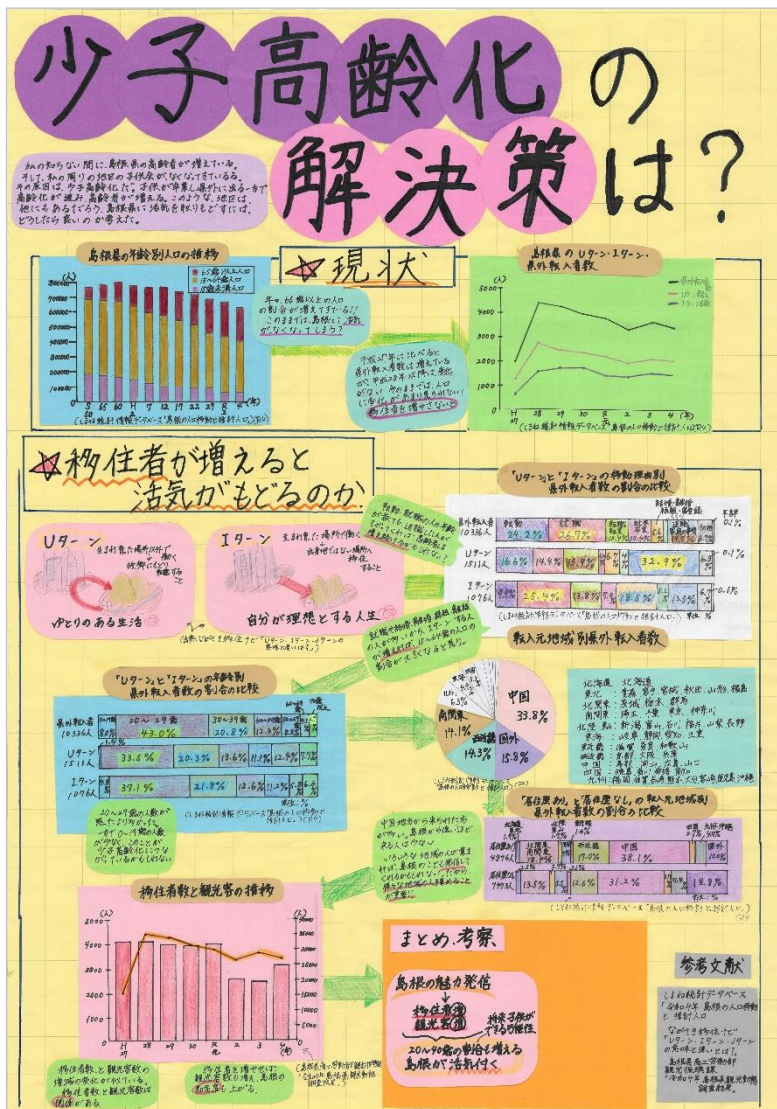
○第2部 特選



「朝ごはんは、わ食！？よう食！？」
浜田市立旭小学校 3年 岡本 悠里

両親の朝食の好みから、出身地による朝食の違いを調べる着眼点が素晴らしいです。
また、テーマを絞ることにより、多彩な朝食の内容がわかりやすくまとめられています。
目を惹きつけるタイトルと、実際にアンケート調査を行い、島根県と奈良県のデータをわかりやすく並べています。
さらに、写真を使用することにより表現を工夫した作品となっています。

○第3部 特選



「少子高齢化の解決策は？」

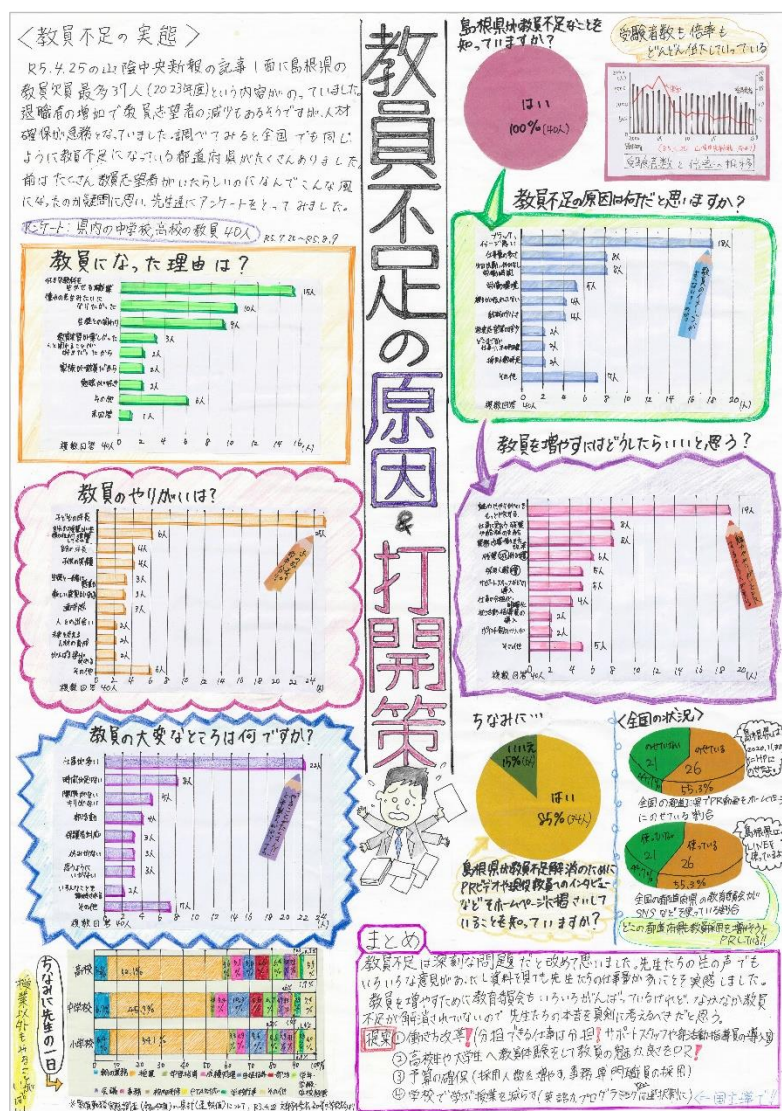
松江市立法吉小学校 6年 青山 和

島根県の課題でもある高齢化の解決策として、Uターン・Iターンの視点からだけでなく、転入者、観光客を含めて考察しようとした点が素晴らしいです。

日々の学習を活かし、情報データベースを使って多様なグラフの組み合わせを駆使している点、一つのデータの考察から次の調査テーマを決めて調べるなど全体としてストーリーのある調査がわかりやすくまとめられています。

情報量の多さと分析力からの結論の導き方、レイアウトの仕方も優れた作品となっています。

○第4部 特選



「教員不足の原因&打開策」

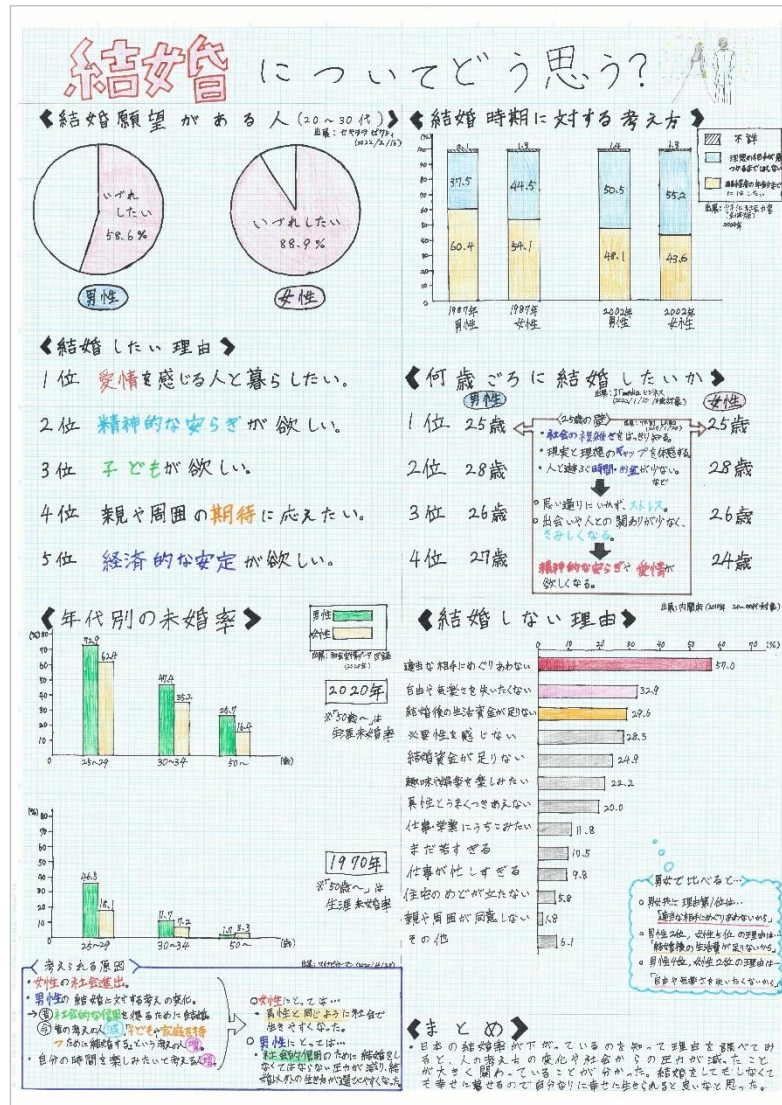
島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 2年 影山 亜胡

「教員不足」という全国的な課題をテーマにし、縦書きの見出しが新聞記事のようで斬新です。

身近な先生を対象にアンケートを取り、必要なデータを様々な方向から調べて集計をしていることから、アンケート内容についてのグラフの表現と自分なりの打開策を打ち出す努力がうかがえます。

全体的にわかりやすくグラフでまとめられており、中学生ならではの効果的に表現する工夫、レイアウトの仕方が優れた作品となっています。

○第5部 特選



「結婚についてどう思う？」

島根県立横田高等学校 2年 水内 美紘

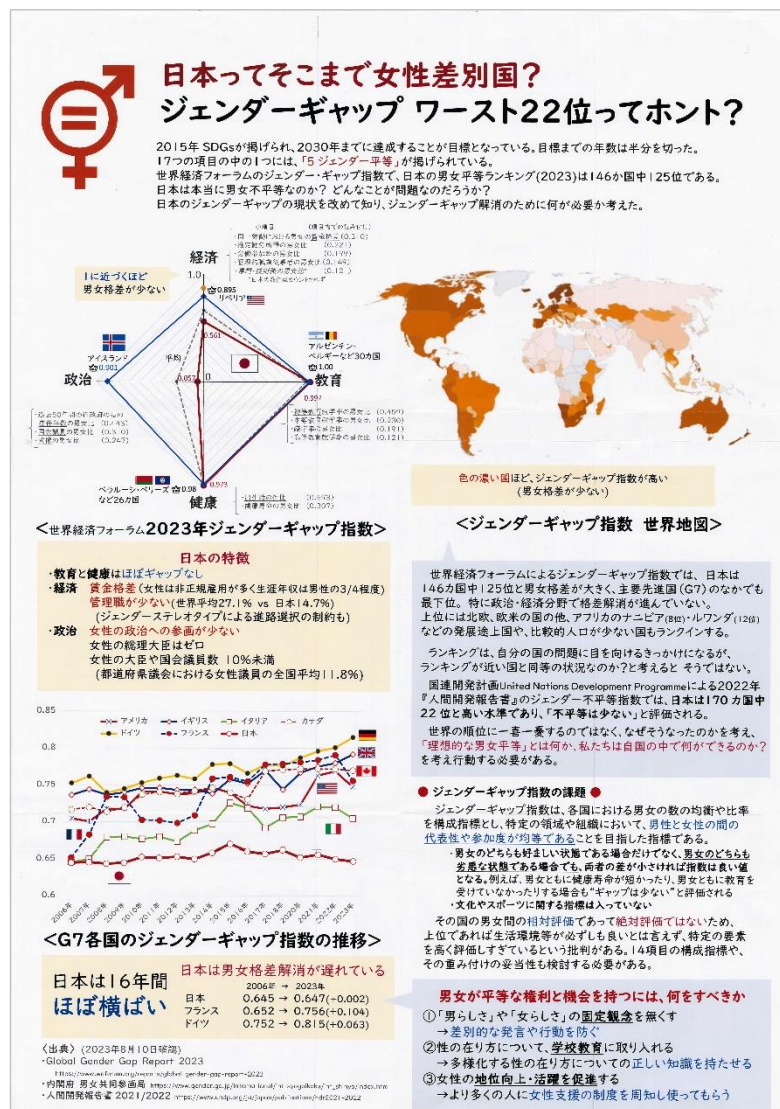
結婚しない若者が増えている中、高校生が身近な課題としてテーマ設定した点が素晴らしいです。

インターネットなどの資料を引用してどう考察されているのかを審査のポイントとし、様々な出典をもとにわかりやすくまとめられていました。

高度な表現の仕方も、高校生らしい作品となっています。

身近なデータを加えながら地域の課題に迫り、分析していくようなアプローチがあると素敵だと思います。

○パソコン統計グラフの部 特選



「日本ってそこまで女性差別国？

ジェンダーギャップワースト 22 位ってホント？」

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 3 年 岩本 実久

着眼点、ビジュアルともに文句なしの作品です。

今ならではのテーマについて調査されており、サンプルデータ数、見やすさ、結論の求め方が素晴らしいです。

目を引く工夫として色、フォント使いが優れており、加えて、データをレーダーチャート、折れ線グラフ、地図グラフなどでわかりやすく表現され、パソコンの機能を駆使しています。考察したことについて、さらに継続的に調査されることを期待したい作品です。